

# 東日本大震災による洋上漂流物の漂流予測に係る

## 専門家会合の結果報告

平成 24 年 7 月 6 日

内閣官房総合海洋政策本部事務局

環境省水・大気環境局

### 1. 概要

東日本大震災により発生した洋上漂流物の漂流については、日本及び米国の専門家が数値シミュレーションによって予測を行っているところであり、今後の予測の精緻化等を目的として日米加の専門家が集まる技術会合が以下の通り開催されました。

### 2. 日時

6 月 25 日（月） 9：00～14：30 （現地時間）

### 3. 場所

米国海洋大気庁(NOAA)シアトル支部

### 4. 出席者

#### 【日本側】

- ・ 漂流予測に係る専門家
- ・ 内閣官房総合海洋政策本部事務局及び環境省の担当官
- ・ 在シアトル総領事館領事他

#### 【米国側】

- ・ 米国海洋大気庁(NOAA)の漂流予測に係る専門家

#### 【カナダ側】

- ・ 水産海洋省(DFO)の専門家

### 5. 結果

- 日米両国のこれまでの漂流予測の手法及び得られた結果、今後の漂流予測の実施計画について情報共有ならびに協働の可能性について検討しました。
- 日米両国で予測に使われたデータ等を共有し、引き続き連携していくことに合意しました。

#### (参考)

日本政府として、洋上漂流物の問題については、内閣官房総合海洋政策本部事務局の取りまとめの下、関係省庁が協力して対応を図っています。

環境省の役割としては、昨年度から、数値シミュレーションによる洋上漂流物の漂流予測を行っており、今年度も、予測の更なる精緻化等を目的として数値シミュレーションを行い、米国等の関係国への情報提供や協力体制の構築を図ることとしています。